

平成 29 年度第 2 回学校協議会 議事録

日時 平成 29 年 11 月 24 日 (金) 15:30~17:00

場所 佐工会館 1 階 (同窓会館)

1. 開会
2. 校長挨拶
3. 佐野工科地域コンソーシアムについて・・・教頭
4. 事務局報告
 - ①各分掌の目標と本年度の取組について報告・・・教務部・生活指導部・進路指導部
 - ②地域連携等報告について報告・・・担当首席)
 - ③生徒支援について報告・・・支援コーディネーター
5. 「学校経営計画及び学校評価」の進捗状況 (校長)
6. 全体協議

○第 1 回で広報についての議論があったが、外部への宣伝はどのようにしているのか。

Ans. 夏休みの中学生対象のクラブ体験を行った。そのほかには学校説明会ですが、まずそこに来てくれるかが大きなハードルです。

○新聞の記事などにより佐野工科の入賞や大会出場成績などで PR できるのでは。それらは工科生にとっても知恵や感性を育む良い経験である。周囲からの評価もやりがいにつながる。

○ (広報として委員の方へ) PTA からのネットワークはどうですか？

Ans. PTA としてというより個人的に進路に迷っている保護者に相談されたときは佐野工科が就職に有利などとアドバイスはしている。

Ans. 中学校 PTA としては、進路懇談会を経て 11 月の 3 年生の会議に発信をしている。希望調査の人数について昨年度は公表されていません。

○文化祭のメニューはどのようなものがあるか。これらを各中学校に案内してみてもどうか。

Ans. メニューはクラスでは主に飲食模擬店やイベント、クラブ関係ではものづくりを活かした取組もあります。現状はチケット招待制でフルオープンではないですが、その点も検討してみます。

○中学生の進路懇談会は 11 月が本番で今後、志望者数は上がると思われる。

○7 月には泉佐野の小中学校の PTA の方に学校を見学いただいた。他の地域の中学にも実施ができれば素晴らしいと思う。

○第 6 1 回大阪府学生科学賞で「大阪府教育委員会賞」の「最優秀賞」は大変価値のある賞で受賞したのはホントにすごい事。もっと PR すべき。

○文科省の小中高支援教育について初期の段階でモデル校 10 校が推薦されている。高校は 2 校中の 1 校に佐野工科の名前があった。これは定時制ですね。そういったところで相談できるのではないか。

支援は最初の段階での情報収集は難しいがどのように行っているか。

Ans. 入学のしおりにある高校生活支援カード情報、入学当初の健康相談や教育相談、中学校からの聞き取り情報を一覧にまとめ、その他小中学校の支援ファイルを活用しています。

支援の必要な生徒は、他の生徒との関係が一番、気になることが多いです。個別に対応が必要です。

○懲戒件数の増加していることについてどうですか。

Ans. 入学当初に喫煙の事象が露見するかどうか件数に現れます。後の指導に影響があり、早いうちに対応できた方がよい結果につながり、今年度はその影響で件数が増えています。また、今年度はいじめに関する内容で指導を行いました。重大な事象になる前に、また再発や同様のことが起こらないようにするために、当該の生徒への指導、支援とともに、全校集会で生徒全体への指導も行いました。

まとめ

○生徒支援についてここで初めて出てきた内容だが、以前からの取組がようやく形になってきているということですね。

7. 校長挨拶

8. 閉会